

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

| | | | |
|---------------------------------|--------|---------------------|-------------------|
| 課題番号 | 262011 | 事業期間 | 平成 26 年度～平成 30 年度 |
| 取組の名称 | | 団体名称 | 代表者名 (職名・氏名) |
| 今必要とされる放射線影響研究を日本から世界へ発信するための取組 | | 一般社団法人 日本放射線影響学会 | 会長 藤堂 剛 |
| 学術刊行物の名称 | | | (略称) |
| Journal of Radiation Research | | | JRR |

【平成 28 年度 中間評価結果】

| 評価 | 評価基準 |
|---|--|
| A+ | 当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。 |
| A | 当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。 |
| ○ A- | 当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。 |
| B | 今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。 |
| C | 今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。 |
| (評価意見) | |
| <p>当初の 4 つの目標は、①投稿論文数の増加、②受稿日から出版日の期間の短縮、③外国人査読者の増加、④論文アクセス数の倍増である。</p> <p>Oxford University Press(OUP)と出版契約をした結果、②と④については目標指標を達成している。一方①と③においては新規雑誌の発刊増などの理由により①は応募時の数値の維持、③は減少している。</p> <p>しかし、宣伝の強化や他国の学会との査読者の相互提供など、努力も見られるので、今後の目標達成を期待したい。</p> | |